

第12回 (9/26号)

水稻病虫害発生予察の結果について

本年度の予察は、今回で終了となります。ご協力ありがとうございました。

① 生育状況

生育状況は概ね平年並みです。生育は順調に進んでおり、どの地区も固熟期～黄熟期に入っていました。長岡地区や大仁地区の早い圃場では収穫をしている圃場もありました。穂の8割以上が黄金色に成熟していれば収穫適期です。刈り遅れにならないように気を付けましょう。

② 病虫害状況

どの圃場でもウンカ類やヨコバイ類の害虫を含む病虫害の発生はほとんど確認出来ませんでした。現状では、管内において「秋ウンカ」による坪枯れ症状の被害無く、無事に収穫を迎えられる見込みです。今年度は管内全体で紋枯病の発生が多くみられました。県内でも発生が多い傾向がみられています。今年度発生がみられた圃場では来作の対策として、箱処理剤の施用、出穂1週間前～出穂期の薬剤散布を検討してください。



↑ 紋枯病発病株

紋枯病

- ・高温多湿条件下でまん延しやすく、発病すると下位葉鞘に病斑を形成し、徐々に上位葉鞘へ病斑が進展する。発生が激しい場合には、穂まで犯され枯れこむ。

発生原因

- ・前年に発生した株に形成され、地表に落下し、越冬した菌核

③ その他

今回の調査では倒伏している稲がみられました。倒伏によって成熟した粃が水に浸かり続けた場合、粃が発芽する恐れがあります。倒伏の程度がひどい場合には、株を起こし日当たりを良くし、乾燥させる方法も検討してください。

問い合わせ：韮山営農経済センター 勝又 055-949-0055

※JAふじ伊豆ホームページでも確認頂けます。

※FM伊豆の国でも朝・昼放送を開始しました。